

「全少」を日本一研究する指導者による提案



第85回

養正館館長 渡辺貴斗

ZENSHOに 挑戦しよう！



ウチの子、もしかして発達障害？(その1)

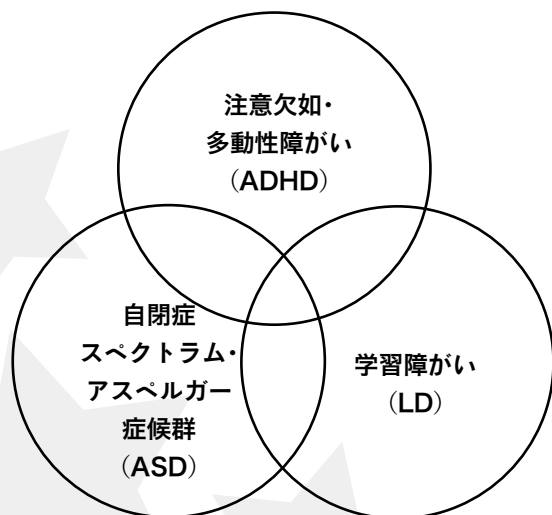
★みんなと同じことができない

道場にはいろいろなタイプの子供がいますね。寡黙でおとなしいタイプ、よくおしゃべりをするタイプ、落ち着きなく常に動きまわっているタイプ、こちらから挨拶しても目を見ずに返すタイプなど。空手指導は一般的に、集団で同じ内容をやります。そうすると、10人に1人位の割合で、みんなと同じことができない子がいます。

例えば、稽古のはじめに座礼をしますが、「黙想！」といっても目を開けたままずっと体を動かしている、さらには立ち上がって歩き出してしまう子がいます。何とか30秒ほど目をつぶって止まっていられるように指導しますが、半年たってもまったく改善されない子もいます。このように、発達障害に限りなく近いと思われる子は、みなさんの道場にも少なからず見受けられることと思います。

★発達障害といっても様々

発達障害とは、生まれつきの脳機能の障害と考え



られています。ざっくりと ASD、ADHD、LD の3つに分けられます。ASD とは「自閉症スペクトラム、アスペルガー症候群」、ADHD は「注意欠如・多動性障害」、LD は「学習障害」と呼ばれるものです。図のようにこの3つは独立しているとは限らず重なり合うこともあり、重なった場合の比率も個人によってバラバラで、特性の表れ方は千差万別です。発達障害自体には知的な障害はありませんが、発達障害にさらに知的障害を併せ持つ子もいます。

同じ自閉症スペクトラムと診断されても、人とのコミュニケーションが苦手な子もいれば、反対にとっても積極的に相手に近づくタイプもいて、その特性も様々です。

以下にそれぞれの特性を挙げますが、必ずこれらの特性がすべて表れるわけではありません。

自閉症スペクトラム、アスペルガー症候群の特性

- ・挨拶の時、視線を合わせない。
- ・逆に挨拶する時、かなり近くまで顔を寄せ、こちらの目を凝視するタイプも。
- ・顔の表情が乏しく、笑顔が少ない。
- ・好きなことには過集中する（長時間でも平気）。
- ・独り言をブツブツ言う（鼻歌も）。
- ・相手の気持ちがわからず、悪意は無いのに嫌がることを言うてしまう。
- ・突然の予定変更パニックになる（いつも通りを好む）。
- ・手先や体の動きが不器用である。
- ・音に敏感に反応し、両手で耳を塞ぐ（みんなの気合が苦手）。
- ・体を触られるのを極端に嫌がる（組手など）。

- ・一人の時間が大事（特定の人にのみ心を開く）。

注意欠如・多動性障害の特性

- ・ぼんやりしていることが多い（忘れ物が多い）。
- ・じっとしていられず、常に体を動かしている。
- ・明るく、活動的で人当たりがよい（しかし、広く浅い人間関係）。
- ・黙想している時など、急に大きな声を出したりする。
- ・黙って話を聞く時すぐに隣の子に話しかける。
- ・こちらの質問が終わる前に答えを言ってしまう。
- ・飽きっぽい（場当たりの行動）。

学習障害の特性

- ・読み、書き、計算が苦手

★こちらから発達障害とは言わない

空手指導においては、ASD と ADHD が関係してきますので、10 年ほど前に実際に起きた ADHD にまつわるお話をします。

ある年長の男の子が、体験入門に来てからの1ヵ月間、稽古中ずっと動き回っていました。お母さんに「ADHD の可能性が高いです。入学前に検査されることをお勧めします」のように提案させていただきました。それまでも多くの ADHD の子を見てきましたので、その典型的な特性に間違いのないと思いました。しばらくして、そのお母さんから「検査しましたが何もありませんでした。正常だそうです」とご報告を受けました。私は穴があったら入りたい気持ちになりました。「安易に失礼なことを言ってしまう、本当に申し訳ありませんでした」と何度も

謝りました。そのお母さんはとても出来た方で、「今後もこのような気になることがあったらどんどん言ってください。お知らせくださいましてありがとうございました」とお礼を言っていました。

このようなお母さんは本当に稀です。「この子は ADHD です」、「自閉症に間違いないので病院に行って検査を受けてください」などと間違ってもこちらから言ってはなりません。私たちは医者ではないので、診断したり、病名をつけたりするのは、ただの思い上がりです。

とは言え、「これは発達障害だな」と強く思うことはありますね。そんなときは、道場での様子を第三者の目で、客観的に、お母さんに事実関係を伝えるだけでよいのです。そのあと、検査に行くかどうかは保護者が決めることです。もし発達障害だと診断された場合は、「道場は分からないので、あとは専門家にお任せします」と突き放すのではなく、お母さんの気持ちに寄り添い、これからどうやったら稽古を続けていけるか（道場にできることはないか）、学校の授業はどうするか（学校が何か配慮できないか）と、親身に相談に乗ることが大切です。

PROFILE

■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968 年 4 月 20 日生まれ。7 歳から父である館長から空手の手ほどきを受ける。児童心理学や成功哲学を研究して子どもたちの「心をつくる」指導法に切り替え、2013 年 5 名、2014 年・2015 年 7 名、2016 年 5 名、2017 年 9 名、2018 年・2019 年 5 名を全少入賞させ、一道場での全国最多入賞を連続で記録する。道場経営でも、一道場で 350 名を超える大躍進を続ける。



空手道場 養正館／静岡県沼津市本田町 11-12



Column

全中センバツ & ナショナルチーム選考会

■全中選抜 1 年男子形 準優勝！／1 年男子組手 準優勝！

3 月 28 日～30 日、全中選抜（第 16 回全国中学生空手道選抜大会）が京都市体育館にて開催されました。

1 年男子形で松本颯哉が準優勝、1 年男子組手で芹澤連二が準優勝しました。あと少して、1 年男子両種目制覇できるところでした。

まだ 1 年生で、チャンスは来年もありますので、優勝の楽しみは来年に残しておこうと二人と話しました。

松本は全少すべて（小 6 の全少はコロナで中止）に出場していますが、一度も全国入賞していません。芹澤は小 1 のときに全少 5 位になって以来、6 年ぶりの全国入賞です。二人とも、自分を信じて努力を継続してきました。

そして、芹澤は 4 月 16 日のナショナルチーム選考会を受けます（松本は 14 歳未満のため断念）。養正館からは他に、伊藤耀聖（新中 3）も、東海地区推薦で、4 月 17 日のナショナルチーム選考会（形）に参加します。

みんな夢に向かって頑張れ！！

■ナショナルチーム選考会 2 名参加！



松本颯哉（左）／芹澤連二（右）



伊藤耀聖